

教科名	科目名	単位数	授業形態	系統	履修年次
芸術	音楽Ⅲ	2	選択	文系	3

教科書（発行所）	Joy of Music（教育芸術社）
教科書以外の教材	

目 標		<p>1 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽文化の多様性について理解するとともに、創意工夫や表現上の効果を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。</p> <p>2 音楽に関する知識や技能を総合的に働かせながら、個性豊かに音楽表現を創意工夫したり音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりすることができるようにする。</p> <p>3 主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、音楽文化を尊重し、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</p>		
	学期	学習事項	学習内容	考査等
学習計画	1学期	楽典 聴音 表現	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的な分野から発展的な内容まで理解できるようになる。 旋律聴音や複旋律聴音、四声体（密集・開離）まで幅広く聞き取れるようになる。 歌唱、器楽、創作の3領域から1つを選択し、表現活動に取り組む。 	確認テスト 実技テスト 実技テストまたは作品提出
	2学期	楽典 聴音 表現	<ul style="list-style-type: none"> スコアを用いた演習（音程、調判定、移調など） 旋律聴音や複旋律聴音、四声体（密集・開離）まで幅広く聞き取れるようになる。 歌唱：楽曲分析・練習を行う。 器楽：楽曲分析・練習を行う。 創作：作曲を行い、和声法を学ぶ。 	確認テスト 実技テスト 実技テストまたは作品提出
	3学期	楽典 表現	<ul style="list-style-type: none"> 総合問題演習 演奏・発表を行う。 	確認テスト 演奏または作品発表
授業の受け方・学習に向けてのアドバイス等	選択した生徒の活動内容に対する意見や希望を聞いた上で、計画を立てていきます。音楽Ⅰ・音楽Ⅱの内容をさらに深めたものになるので、目標をしっかりと定めて臨みましょう。			

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
	<p>曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽文化の多様性について理解を深めている。</p> <p>創意工夫や表現上の効果を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、表現できている。</p>	<p>音楽に関する知識や技能を総合的に働かせながら、個性豊かに音楽表現を創意工夫したり音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりすることができている。</p>	<p>音や音楽文化と豊かにかかわり、主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組んでいる。</p>
評価の方法	<p>上記の観点を中心に、各学期の評価は、実技試験・レポート提出、作品発表、確認テスト（授業の中で行う）、学習活動への参加状況を総合的に判断して行う。定期考査は行わない。</p>		